

検討のポイント1

資料1のとおり、疾病による死亡状況や生活状況（健診受診行動等）関連データを地域別にみると兵庫県下において格差が生じていることがわかります。これらの健康格差対策には、まず地域の健康状況や生活状況を評価し、地域の健康課題を明らかにすることが必要です。

そこで、地域別の健康課題に応じた取組みの推進に焦点を置くこととします。



各関係団体より、「健康状況、生活状況においてどのような地域の特徴を把握されているか」、「その健康課題に応じた取組について」ご意見を賜りたいと思います。

【論点】

- ① 各団体において、地域格差を把握しているか、格差に関するデータを所持しているか
- ② 地域の健康課題のために取り組んでいること、今後必要な取組み
- ③ 地域の現状を踏まえた家族（被扶養者）への対策はどのようなものが考えられるか
- ④ 地域・職域で連携した取組みとして考えられる事項

検討のポイント2

本県では、平成25年より健康づくりチャレンジ企業の募集・登録を開始し、登録企業からは資料3のとおり、従業員の健康づくりにある一定の効果を得ていると考えております。

一方で、補助メニューの活用に見られる、企業独自の取組みを把握しづらいなどの課題もあります。



そこで、健康づくりチャレンジ企業の取組をさらに活性化していくための方策についてご意見を賜りたいと思います。

【論点】

- ① 本事業の評価方法について
 - ② 新たな支援メニューの提案について
 - ③ 補助メニューの活用のない企業の健康づくり対策の把握方法、評価の方法等
- *登録企業に目標設定を促し、その目標と達成度を把握し、好事例等を評価する。